Rotary 宮崎南週報

人類に奉仕するロータリー
ジョン・F・ジャーム
2016-17年度RI会長

出逢う人と奉仕を共に

宮崎南ロータリークラブ
会長　野田一孝

第1911回例会　2017.3.13

会長　／野田一孝　　幹事　／井上竜志
副会長／日高章智　　会報　／戸髙勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング ／奉仕の理想
ロータリーの目的

会長挨拶　野田一孝会長

今月は「水と衛生月間」ですが、ガバナー事務所からの案内によりますと、衛生的なトイレや水設備が利用できない人が「２５億人」いて、衛生設備や安全な水の欠如が原因となり、「毎日１，４００人の子供」が命を落としています。このようなことの解決策として、一方的に支持するのではなく、地域社会の人々と協力して解決方法を決めた方が良いのです。渇きで亡くなる人は少ない一方、水を介する疫病（えきびょう）で亡くなる人は、何百人といます。

例えば、せっけんで手を洗うことで下痢を３５％減らすことができます。と、教育を通じて正しい衛生習慣を推進する、アフリカの僻地に住む女性たちの中には、「毎日６時間」かけて水を汲みにいかなければならない人がいます。きれいな飲み水が利用できない人は、「７億４，８００万人」の人がいます。

このような状況を打開するには、家庭で安全な飲み水を得るための手段を提供するなど、低コストの解決策を提供するよう行動しましょう。と訴えています。

井戸を設置するのも素晴らしいことですが、その地域の身近なもので簡単に浄化できる施設を考えたいものです。

出席委員会報告　松田安典委員長

●出席状況

本日状況	
会員数	（42）44名
本日欠席者数	16名
本日出席者数	28名
出席率	66.67%

前々回状況	
会員数	（40）44名
ホームクラブ出席者数	29名
メークアップ数	2名
修正出席者数	31名
修正出席率	77.50%

●前々回メークアップされた方／日髙勇二会員、星野敬人会員

ニコニコBOX	0件　0円　累計159,500円
募金箱	5,135円　累計129,914円

幹事報告　井上竜志幹事

・民生館施設長中村様よりお礼の言葉が届いております。
・宮崎東RC創立20周年記念式典祝賀会のご案内が届いております。

６月10日土曜日　ニューウェルシティ宮崎にて開催されます。
受付15:30～　　式典16:30～
記念講演17:15～18:00
講演者は黒木酒造　黒木敏之さまです。
祝賀会は18:20～20:00
登録料￥10,000　４月17日締め切りです。

親睦委員会　大迫雅浩副委員長

・3月27日(月)観桜会を行います。現在30名くらい参加になっておりますが、まだまだ受付けますので多くの参加をお待ちしております。

Rotary ロータリー情報　●ロータリーの標章（Use and Protection of the Rotary Marks）

国際ロータリー細則は、次のように規定している：「RIの知的所有権の保全。理事会はRIの徽章、バッジその他の記章をもっぱら全ロータリアンのみの使用と、その利益のために確保し保全するものとする」。このため、RI理事会は、RIの知的所有権である標章（ロータリー標章）の使用の維持、保全、保護を委ねられている。

その他

会長エレクト報告　　戸高勝利会長エレクト

３月4・5日の２日間シーガイアコンベンションセンターにおいて受講してまいりました。ＰＥＴＳと略されており、このセミナーを受けないと会長になれない大切な研修です。2730地区65名が押川ガバナーエレクトの監督の下、今年のＲＩ会長イアン・ライズリー氏のテーマ『ロータリー：変化をもたらす」を実践し、会長としての能力、知識を高めやる気を発揮できるよう指導する研修です。懇親会では宮崎県中部地区の各エレクトの皆さんと絆を深める事が出来ました。南ロータリーの会長としてしっかり準備をしてまいります。以上ＰＥＴＳの報告でした。

ロータリー情報委員会　　大迫三郎委員長

ロータリーロゴの使用例と
ロータリーの友雑誌紹介

３月12日都城メインホテルにて地区クラブ研修会がありました。ロータリーのロゴマークの使用の規定について例えばサイズは最低13ミリ以上とかROTARYの文字とマークロゴは一対でありマークのみの場合は用途に応じるなど、色の指定もあり、ロータリーの象徴としての決まりがあります。詳しくはパンフレットかインターネットのマイロータリーにて。検索ができて引き出せます。

尚、毎月配布される「ロータリーの友」の紹介を委員長又は幹事の指名にて会員の中からハイライトを紹介して戴くことをお願いいたします。

本日のプログラム
会員卓話

㈲高副　会社PR　　高瀬俊彦会員

・有限会社高福
　－高瀬石材店－　－石亭－
・代表者　高瀬俊彦
・所在地
　本社　宮崎市清武町加納甲3185-4
　石のひろば 加納店　宮崎市清武町加納甲3181
　石のひろば みたま園店　宮崎市池内町地金3986
　石亭　宮崎市清武町あさひ1丁目16
・従業員数　14名
・事業内容
　高瀬石材店
　　墓石記念碑,モニュメント、建築土木環境石材
　　石材小物製造販売
　石亭
　　ランチ、お弁当、石材小物販売
・沿革
　昭和29年　高瀬石材店として創業
　昭和56年　宮崎市池内に墓石展示場オープン
　平成8年　有限会社高福として法人成り
　平成10年　清武町木原に墓石展示場オープン
　平成11年　石のひろば みたま園店オープン
　平成14年　石のひろば 加納店オープン
　平成18年　石亭開業
・実績　墓石　約4,000基　記念碑・モニュメント　約200基
・当社の持つオリジナル技術
　一枚台カロート　実用新案　第251952号
　　(耐震性に富んだ納骨室)
　白寿花立　実用新案　第032153号　意匠登録　第128347号
　　（生花の長持ちする花立）
　免震ゲル「はかもり」　ロイヤリティ
　店力　（独創的な提案力・サービス）
・社訓
　想い・創造・聡明の三ソウを理念に一期一会をモットーとし、真心込めて誠心誠意　日々全力で関わります。

これまでは、お墓はデザイン力や営業力で、つまり売る努力をすれば売れた時代。
しかし、今後は社会情勢の変化、様々な選択肢の増加、感情観念の希薄化等で“お墓ばなれ”・・・お墓を必要としない傾向にあります。我々の業界そのものが存続の危機に追いやられる時代になってきていますし、間違いなく淘汰されていくでしょう。しかし、悲観的には考えてはいません。
今と現実にしっかりと向き合っています。そして未来の創出に向け、新しい営業媒体 事業展開を考えながら邁進しております。明るく前向きで真面目な社員と共に、これからも社会に貢献出来る企業を目指し、更に頑張って参ります。